



2019年10月25日発行
通算 第199号

会員だより 2019年11月号

NPO 法人 大田・花とみどりのまちづくり
〒146-0094 大田区東矢口 3-17-2-103
Tel&Fax. 03-3734-7932 / npoogc@yahoo.co.jp
http://hanamidori.sakura.ne.jp/



ひろめよう♪



大田区「地域力応援基金助成事業」に
応募、採択されて実施しています！



「花とみどりで心と身体健康づくり」

表題の事業を、令和元年度 地域力応援基金助成事業（チャレンジプラス助成）に提案して7月に採択されました。チャレンジプラス助成事業では、区が提示する課題に沿った提案が必要となり、今年度の課題は「おおた健康プロジェクトを推進する事業」です。普段の私たちの活動が心と身体健康に、ゆるやかに結びついていることを再認識してさらに広めていこう、という目標を掲げて、下記のような事業を計画しています。

地域力応援基金助成事業 「コミュニティガーデン講座①」開催報告

先月同封したチラシの通り、第一回目の講座を10月14日に開催。江東区在住の東方陽子さんを講師に招き、区内外から20名が参加しました。公園は地元「桐里梅田BASE」がふれあいパークのフィールドとしていることもあり、桐里梅田町会からの参加も多く、賑やかに和やかに進みました。次回が楽しみです。

花とみどりで心と身体健康づくり

に取り組むにあたって、下記の3つの事業を考えました。

花とみどりのさんぽマップづくり

花とみどりをメインテーマに、公園だけでなく、個人邸の庭先なども見所に盛り込んだマップを作って配布します。

花とみどりのまち歩き

上記マップを活用して、まち歩きイベントを開催します。
(地域で環境活動を行う団体にご協力をお願いします)

コミュニティガーデン講座

新しく公園を整備するのは時間もお金もかかるので、既存の公園の活用をしながら（区の「ふれあいパーク活動」にも登録）足をのびて歩きたくなる公園づくりを目指します。



コミュニティガーデンについて学んで



会場となる公園を見に行つて

この助成事業の提案に向けて、5月10日に池上地域のまち歩きを開催しました。その時に、皆さんから出てきた声を企画に反映しています。

「心と身体健康づくり」は、ちょっとやさそつとで、達成できることではありません。こうしたまち歩きイベントや、コミュニティガーデンでの取り組みを通して、日々の暮らしの中に、花やみどりに触れる機会を増やしていくことで「気がついたら元気になった」そんな小さな積み重ねによる成果を目指します。今後も、注目してくださいね！



発見や思いを出し合い、共有しました

秋も深まってきました… 10月の活動をご紹介します♪

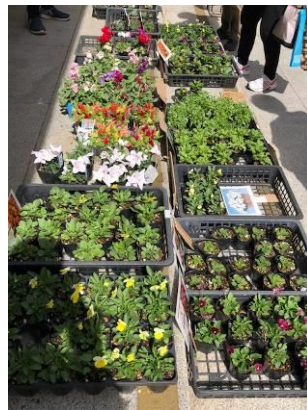


第48回大田区生活展 10/5(土)、6(日)消費者生活センター

猛暑で大変だった今年の夏。
10月に入ってもまだ30度を超えた10月初めの週末、生活展にて圃場で作った花苗、大田市場で仕入れたキキョウ、シクラメンなどを販売しました。圃場でポット上げた花苗が順調に育っていて嬉しかったです。

生活展ではリピーターさんが多く、花の育て方などの質問があり、毎年楽しみにしてくれています。ちょっと残念だったのは、チューリップの球根が間に合わなかったこと。多肉植物がかなりの人気なので増量など、来年に向けて改善ありと思いました。

(小関孝子)



「18色の緑づくり交流会」10/6(日)池上会館

大田区主催の「18色の緑づくり」の年一回のイベントを今年は池上会館で行いました。
午前：トークタイム…地域で頑張っている皆さんの発表(矢口、池上、羽田、千束地区)と、アドバイザーの立場からコミュニティガーデンコーディネーター、スマイルプラス代表の木村智子氏より18色の緑づくりを通して地域活動をする意義についてのお話を頂きました。

午後：園芸相談、体験タイム…地域の花の種まき(英字新聞ポットで)、チューリップの球根クイズと植付け、ハーブを使った蒸留体験、区内「NPO法人都会で炭焼きプロジェクト」提供の炭ポットに池上の花屋「wnico(ニコ)」選りすぐりのドライフラワーで室内飾りづくりを行いました。地域での苦労もポジティブにいきいきと花を育てている皆さんの元気と、ハーブの香り漂う室内での体験で、たくさんの方が満足された一日でした。(内田秀子)



「みどりの縁側」 平和の森公園展示室

★ネイチャーウォーク「樹木と果実」：10/5(土)



キンモクセイ

日本には雄の木しかないので
実はありません。



ユズリハの実

雄と雌の木がある。



マテバシイ

雄の花と雌の花があり、今年
の花は来年の夏に実ります。
(上田志朗)

チャドクガ体験記 ～脱皮後の殻に注意～



事務局 安全担当より

安全コラム

9月にチャドクガによるかぶれを体験してしまいました。中旬頃ツバキの剪定作業を行った折、チャドクガの幼虫がびっしり並んだ葉や枝を除去したのですがこの時に触れてしまったようです。腕に赤いブツブツができた程度で痒みや痛みは特にありませんでした。思えばこの時生まれて初めてチャドクガにかぶれたようです。2回目は下旬に幼虫の脱皮殻がついたツバキの近くで作業していましたが触れた記憶がないまま次の日の朝から腕や手首や胸等に赤いブツブツができ始め、手首には幅1cm、長さ5cm程の水ぶくれができ始めていました。皮膚科を受診し、飲み薬と塗り薬を処方され1週間程度で収まりました。2回目以降は抗体ができて症状がひどくなるそうです。不思議なことに夜眠れないほどの痒みはありませんでした。ここでは今回の一件に基づき脱皮後の殻と接触しないための方法についてお伝えしたいと思います。

1. 幼虫がいる場合は注意しますが、脱皮殻については油断してしまいます。脱皮殻についての毒針毛(「どくしんもう」と呼ぶそうです)は風等によって

- 飛散し、皮膚に付着するとかぶれの原因になります。脱皮後の殻がないか観察してからの作業が重要です。見つけたら枝元から切ってそのままゴミ袋へ投入。
2. 長袖、長ズボン着用はもちろんですが、目の粗い布地は毒針毛を通します。私も長袖を着用していたにも関わらず腕がかぶれてしまいました。目の細かい布地やヤッケ等の着用品が良いです。
 3. 軍手で作業する場合は薄手のゴム手袋をし、その上に軍手を着用すると良い。ただし、暑い。
 4. 今回袖口と手袋の間である手首のかぶれがひどかったです。つるつるした化繊製の腕カバー着用が有効。
 5. 毒針毛が飛ばないように固着するために透明のラッカースプレーを吹きかけて固着させることも一つの手段です。ただし乾燥するまでに30分以上必要ですので作業効率があまりよくない。

当会が活動している公園や花壇にもツバキ等のツバキ科の植物が植栽されています。活動している場所にツバキ科の植物があるかないかを確認しておいた方が良いでしょう。(阿部敏章)

お知らせ

第6回 大人のかんきょう楽校 台地と窪と水の「千束」まち歩き

11月24日(日)9:45 大岡山駅前集合(詳細は別紙チラシで)

<今月の会員だよりの同封物> ◆「みどりの縁側」だよりの11月号 ◆「せせらぎ園芸セミナー」チラシ
◆「大人のかんきょう楽校」チラシ ◆「たねダンゴ花壇」チラシ ◆活動アンケート(会員のみ)
◆「みどりの縁側」11月スタッフシフト表(会員のみ)

※有償活動に参加された方には、ポイントのご案内と内訳票を同封しています。